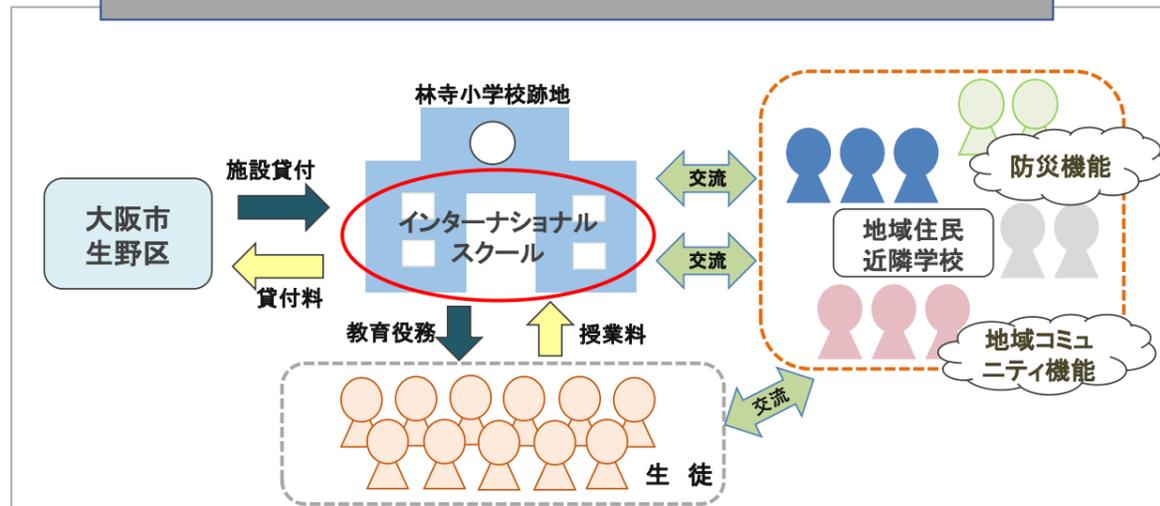


事業運営計画

- ・提案事業を円滑に実施するための体制及び仕組みを記載してください。また、本市や地域への窓口体制や管理人等の常駐体制を含む、施設の管理全般にかかる実施体制を記載してください。
- ・施設の法定点検を含む日常的な維持管理の方法や実施体制について記載してください。
- ・施設の開館日や開館時間を記載するとともに、閉館日や開館時間外の管理体制について記載してください。また、施設の防犯に関する対策について記載してください。
- ・駐車スペース等の整備により周辺交通量に影響を与える場合には、警備員を配置する等、周辺住民の生活環境・安全の確保について記載してください。
- ・運営開始から事業終了までの20年間の事業見通しや、継続的な改善の取り組みについて記載してください。
- ・事業運営中に生じる事故等不測の事態に対する、リスクマネジメントの考え方を記載してください。

持続可能な運営スキーム（施設運営方法）



- ・私どもの会社が、大阪市生野区から施設全体を一括して借り受けて、インターナショナルスクールを経営、運営するシンプルな賃貸借契約といたします。建物、グラウンドなど施設の一部を第三者へ転貸することは考えていません。
- ・私どもの学校は、大阪市内で2006年に開校し、すでに16年間の実績を有しています。2019年には国際バカロレア機構（IB）から幼児初等部（PYP）の認定を受け、大阪府内でも数少ない認定校の一つとなっています。経営母体の会社は、横浜市内でインターナショナルスクールを運営する学校法人や、名古屋市内で同じくインターナショナルスクールを運営する学校法人などと、深いつながりを持っており、教育指導などの技術面や人的な交流も行っています。

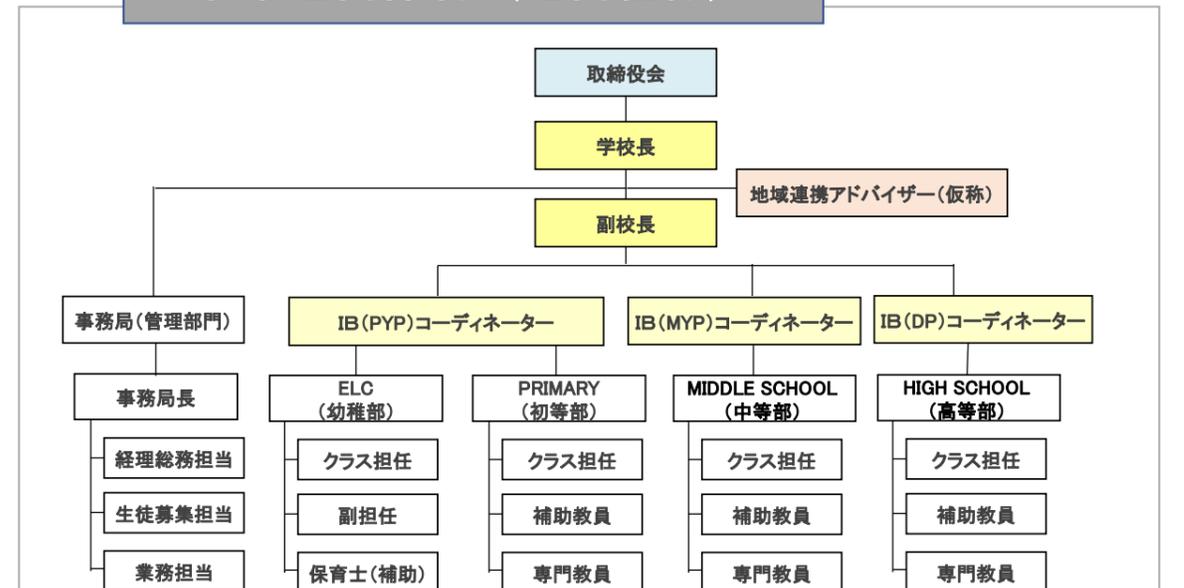
事業運営上の留意事項

項目	基本的な考え方	管理体制及び対策
周辺交通量／生活環境への配慮	登下校時にはスクールバス、自家用車での送迎などで、交通量の増加が予想され、生活環境への配慮が必要	スクールバスの乗降は施設内（グラウンド）で行います。出入口の南門には、登下校時にスタッフを2名配置します。車動線については開業前までに、交通量を推計し、対策（駐停車場所の確保、徒歩ルートの設定等）を講じます。
リスクマネジメント	不測事態の発生時への行動手順と、被害・損失を最小限に低減させるための対応手順の作成	「健康と安全に関するハンドブック」を毎年度作成し、教職員、児童・生徒さらには父兄まで周知徹底します。

学校運営の概要

項目	内容	管理体制及び対策
休校日（休業日）	原則日曜、祝日は休校。その他、年度のカレンダーで休校日を設定	休校日は教職員は不在となります。休校日の警備体制に関しては、現状の警備方法を参考に、利用者の意見を踏まえ開業までに決定します。
開校時間	原則、8:00～18:00	開校時は施設管理担当が常駐します。
防犯対策	施設内へ関係者以外の人への侵入など、施設内での犯罪を予防	現在のセキュリティシステムを踏襲し、入館時の人物確認を徹底します。

事業運営体制（運営組織）



- ・取締役会を最高意思決定機関とし、その下に最高運営責任者である学校長、学校長を補佐する副校長を配しています。その下にIBプログラムの3区分に基づいて学年編成を行い、区分ごとにIBコーディネーターを配置しています。IBコーディネーターは担当学年の教務全般を統括します。これにより高い教育品質を提供する体制を確保しています。ただし、IB（DP）コーディネーターは、2024年8月からの高等部開校時に合わせて設置する計画です。
- ・また、少人数教育の指標として、先生一人当たりの生徒数を7人程度に抑えています。
- ・対外的な窓口は学校長が務めますが、副校長、事務局長も学校長を補佐します。また、日常的な施設管理は業務担当が行い、施設の開館日は常駐しています。災害等の緊急時には、行政や地域の方々と協力して避難所として施設の開放に協力いたします。
- ・地域連携アドバイザー（仮称）は学校長の運営方針に基づき、近隣の学校との交流や行政や地域住民との連携に向け、関係者の調整を図る役割を担います。